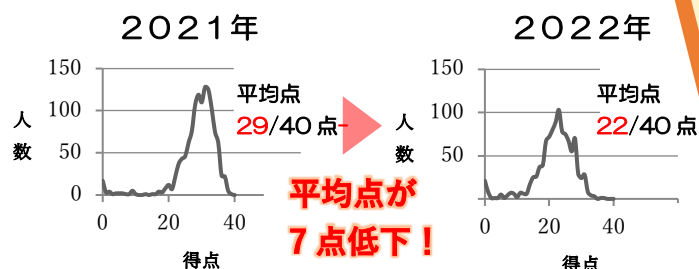


WEB採点会で判明!!

平均点の低下



試験問題の難易度は、前年度より「やや」難(弊社分析)でしたが、平均点は7点も低下しています。採用試験の倍率低下による教養試験の対策不足が露呈したと言わざるを得ません。

WEB採点会で判明!!

正解ではないのに



約6割が選んでしまった選択肢

【第11問】(問1) ※問題文(提示文)と選択肢を省略して掲載。

次の文は「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」(令和元年 文部科学省)の「1 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え」の一部です。空欄にあてはまる語句を選びなさい。

(2) 学校教育の意義・役割
児童生徒の〔空欄〕に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう、本人の希望を尊重したうえで…以下省略

〔空欄の選択肢〕ア 発達の段階 イ 才能や能力

正解は「イ」ですが、約6割が「ア」を選択しています! この要因は、「キーワードだけ覚える」という勉強方法をしているためです。

小学校学習指導要領の文中に、「才能や能力」という言葉は1回も記載がなく見慣れない言葉であり、逆に「発達の段階」は49回記載があるため、「ア」を選択してしまう可能性が高いということです。

東アカだからここまでできる! 最新! 2022年夏試験

WEB採点会 総参加者 1,074名の集計データから見る



北海道・札幌市教員採用試験の分析

WEB採点会で判明!!

教職教養の高正答率問題の減少

【教職教養 20問中】	2021年	→	2022年
70%以上の問題	13問	→	8問
80%以上の問題	10問	→	7問
90%以上の問題	7問	→	1問

教職教養の高正答率問題減少の要因は…

- ① 国語・英語を筆頭に、問題文章量(提示文章量)の増加
- ② 間違いやすい選択肢の増加(上段参照)

が挙げられます。短時間で“素早く”“正確に”解答するトレーニングが必要です。

正答率90%以上の正答率は1/7まで減少!

◆◆東アカ道内受講生の正答率◆◆

2022年度
夏試験にて

教職教養 20問中 17問が、東アカ受講生が東アカ受講生以外の正答率を上回っています!

東京アカデミーでは過去の試験傾向を踏まえて、膨大な試験範囲の重要箇所を洗い出して講義に反映しています。東アカ生は重要科目の教職教養でしっかり得点することができます。

2023年度夏試験は・・・

重要ポイントを押さえた効率的な学習が1次高得点の鍵!



東京アカデミー札幌校

フリーコール 0120-220-731

担当: 中村 / 高久 / 永森

HP: <https://www.tokyo-ac.jp/>

